ボランティア新聞

発行日
8月16日

暑かった日のゴミ拾い

町内のゴミ拾い

僕は、8月14日に妹と町内のゴミ拾いをするためにゴミ袋と火ばしを持ち道路沿いに、ゴミが落ちていないかを探して、拾ってまわってみると、始めは、ゴミなんて普段落ちているのはあまり見ていなかったので町内を一周まわったぐらいでは全然、集まらないと思っていました。だけど、道路沿いは、車で通る人が多くその中には、ゴミを外に捨てる人がいるからか結構たくさんゴミを集められました。

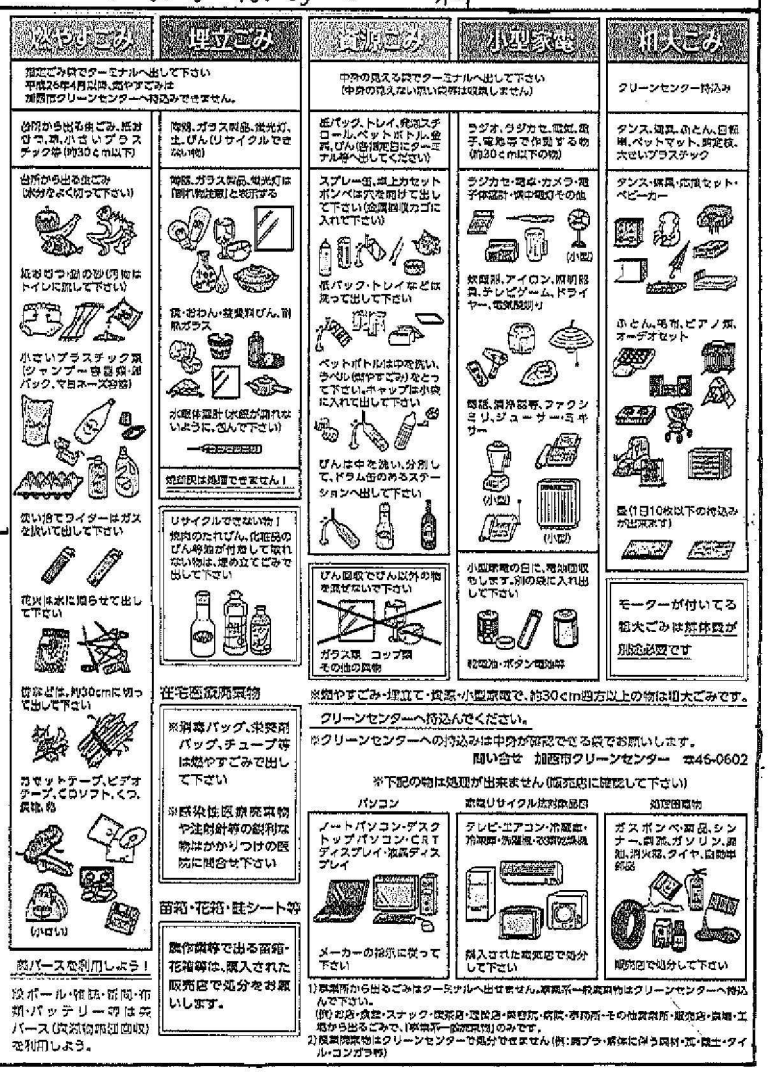
そして、僕の住んでいるここでこれだけのゴミが外に捨ててあることを知ったので、すごく驚きました。

その後で集めたゴミは、分別して捨てました。このゴミの中ではアルミ缶とかスチール缶などの資源ゴミが一番多かったです。

そして、この話は、お母さんに聞いたんだけど、5月に婦人会ので奉仕作業でゴミ拾いをしたらしいです。その時に、タイヤのホイルが落ちていたそうです。僕は、道で時々タイヤのゴムみたいなのが落ちているのは見たことがあったんだけどタイヤのホイルが落ちていたと聞いて驚きました。

ゴミの分別

ゴミの分別は、市によって違っていて、有料のゴミ袋を使っていない市もあり、分別の方法も違っていて細かかったりします。あと分別したゴミのことを説明します。まず燃やすゴミは燃やして処理するゴミで埋立ゴミは地中に埋めるゴミでガラスや陶器などのことで資源ゴミはリサイクルが溶かしたりすることで出来るゴミで、小型家電は漢字のとおり小さい家電製品のことで粗大ゴミは、それらのごみより大きいゴミです。他にも、パソコン・家電リサイクル法対象品目・処理困難物などがあります。

感想

僕は、ゴミ拾いのボランティアをして、自分の村にこんなにゴミが捨てられていることは、知らなかったので驚いたし、道路など、人が車でたくさん通ることがある場所は、ゴミがほっておくと増えることがあかった。このボランティアをして暑かったけれどいいことをしたと思えたのでよかったです。